

# こんにちは！ 愛育委員会です



愛育委員会会長

桑原可菜子

「こんにちは！愛育委員会です」は今年度最終号をむかえました。2008年5月号から、皆様に愛育委員会の活動をお知らせしながら、毎月掲載してまいりました。愛育委員会は、皆様の健康維持と増進のために役立つたいと願う、50年の歴史ある団体です。先輩委員がたの活動は、ほかに類をみないほど素晴らしいものでした。地域と深く関わり、また、多くの研修も重ねて、住民の皆さんの健康維持や増進に努力してこられました。今期の活動は小さいものでしたが、愛育委員会やその活動を知っていただけたら、広報掲載の目的には到達したと思います。ここにいたる、関係各位の暖かいご指導とご協力に心から感謝いたします。

## 愛育委員を務めて

2年間大山地区で愛育委員として活動した、役員の感想や意見など集約しました。

●兵庫県篠山市の愛育会への先進地視察研修は、大変勉強になった。(町報への掲載はこの篠山市の愛育会の活動を参考にして取り組みました)

●乳がんについての研修は、大変勉強になったし検診率の向上にも役立つたようです。自己検診も習慣にしたいです。これからも忘れずに研修を続けてほしい。

●大山賛歌体操の普及には今ひとつ努力が足らなかつた。今後を期待します。

●社会も家庭もそのありようが変化している中で、検診の方法も変わり愛育委員会としても、活動の取り組み方を考え直す時ではないだろうか？

●地域医療がもっと充実してほしい。特に、大山診療所の有効な活用のため、住民も含めてなげ出来るか考えていく必要があると思う。

●大山、名和、中山地区の皆さんの健康維持や増進に役立てよう、3地区をカバーするような会の設立のため、今後も協力して努力していただきたい。



心のハート

## 愛育委員会に思うこと

福祉保健課長

戸野 隆弘

町には中山地区に保健委員、名和地区に健康づくり

部推進員、そして大山地区には愛育委員があり、それぞれ、健康づくりや保健衛生の推進にご協力をいただいています。

愛育委員の場合、特徴的な

のは「愛育委員会」という団体を組織され、自主的な活動をおこなっておられることです。愛育委員会では、この連載記事で紹介されてきたとおり、各種の研修会等に積極的に参加するほか、独自の取り組みも企画しておられます。たとえば、今年度は大山賛歌

\*視察研修で行った篠山市いぬい福祉村で使われていた「心」の文字をデザインしたハートのマーク。愛育委員会も心が伝わるような活動を目指しています。

体操の普及員の講習を受けた会員が、普及講習会を会員外の方にも参加を呼びかけて実施するなど、地域への働きかけをおこなってこられました。

また、会員同士の情報共有をはかるとともに、会員は各集落の皆さんへ、健診の連絡や声かけなどを積極的にこなすようになっておられます。

いま、地域福祉の分野では、集落などの身近な範囲での、住民同士の自主的な助け合いや支えあいの重要性が、再認識されているところです。そういう意味でも、愛育委員会のような活動は、今後守り育てていくべき大切なものだと思います。このような活動が全町に広がっていくことを願うものです。